

NPO 法人「三郷サンサンハウス」ニュース №.45



発行日 2017. 5. 1

新緑の候 日頃のご支援有難うございます。昨年末に奈良県の条例指定をいただいて最初の定例総会です。会員の皆様はじめ、地域の方のオブザーバーも大歓迎です。お気軽にお越しください。

総会日程 平成29年5月28日(日) 10~12時

会場 デイサービスくるみ(東信貴ヶ丘1-2-17)

しばらく空席の事務局長はじめ新事務局員が決まりました。山岸前事務局長にはご苦労を掛けましたが、新体制で頑張りますのでよろしくお願ひ申し上げます。 (理事長 上野登志子)

NPO 法人三郷サンサンハウス
理事長 上野 登志子
三郷町三室2-5-22
三郷町東信貴ヶ丘1-2-27
三郷町東信貴ヶ丘1-5-12
Tel /0745-32-3535
Fax/0745-32-3519
<http://www.3533house.com>

新事務局長に就任しました。

本年4月より事務局長に就任しました成吉弘幸と申します。福岡県の出身ですが縁あって奈良県を終の棲家とさだめることになりました。大学卒業後は総務職・経理職をはじめ幅広い実務経験を積み重ねて参りました。最近はそれらの実務経験に加え社会保険労務士の資格を活かして、離職者向けの職業訓練の講師として勤務しておりました。そのような中、知人より三郷サンサンハウスで事務局長の後任を探しているとのお話をいただきました。ただ、これまで介護事業所の仕事にたずさわったことはなく、ましてNPO法人に勤めたことはありません。そのため、これまでの知識と経験だけでは勤まらないと思い躊躇しました。しかし職員のお話を聞きするうちに、皆さんの介護の仕事に掛ける熱い思いを知り、私の経験と知識でお役に立ちたいとの気持ちが強くなり、転職を決心しました。

本年1月より事務局長見習いとして勤務し、少しずつですが先輩方に追いつこうと悪戦苦闘してまいりました。一緒に働く事務局スタッフも在籍間もないため、お互い励まし合って頑張っています。縁の下の力持ちになるのが目標ですが、まだまだ未熟な点も多々あります。それでも先輩職員の力を借りしながら、職務に邁進していくければと願っています。地域の皆様にもぜひ三郷サンサンハウス職員の熱い思いを知っていただき、温かい目で見守って下さいますようお願ひ申しあげます。

三郷サンサンハウスの三つの理念

- 1 住み慣れたまちで暮らしつづけるために必要な支援を幅広く行います
- 2 利用者や地域から信頼される事業所・職員として成長します
- 3 安全・平等・平和な社会環境づくりの一端を担います

新年度の会費お願ひします
新会員も募っています。

	年会費	入会金
正会員	3,000	1,000
一般会員	1,000	1,000
賛助会員	3,000	1,000

お知らせとお願ひ！！ 「イオンの応援団体に登録されました」

イオン社では、毎月11日を「イオン・デー」として、地域で活躍する団体に対して、地域のユーザーとともに応援活動をされています。(幸せの黄色いレシートキャンペーン) 4月より、三郷サンサンハウスも地域で活躍する団体として登録いただきました。当事業所近隣の「イオンいかるが店」と「ザ・ビッグエクストラ平群店」の2店舗で毎月11日に買い物をされた際の黄色いレシートを、店内設置の三郷サンサンハウスと書かれた投函箱に入れていただくと、当事業所にイオン社より衣料用洗剤がいただけます。毎月11日の黄色いレシートを、サンサンハウスと書かれた投函箱に入れていただきますようお願ひ申し上げます。

小規模多機能ホーム萌の里

★☎ 33-3555★

はじめまして。昨年の12月からお仕事させて頂いている津田です。3月に初任者研修を終える事が出来ました。介護の仕事も何も知らず興味もなかった私が、現在この仕事に従事しているのは、父が7年前に認知症の初期症状と医師から告げられ様々な出来事があり、現在に至っているからです。今年の初め骨折し手術、ペースメーカーを入れ、今病院でリハビリ中です。リハビリではハチャメチャな事をしている父、私が大きな声で笑うと涙を流して笑っています。そんな父を見て癒され感謝しています。5月には家に戻りますが家族協力し合っていきたいと思っています。萌の里の利用者さまも1日を大切に楽しく過ごして頂けたら本当に嬉しいです。初心者の私にはまだまだこれから教えて頂く事や迷惑をかけることもあるかと思いますが、改めて介護の現場は大変だと思いました。そして自分に合った仕事だと思っています。これから頑張りますのでよろしくお願いします。

介護士 津田さと子



月に1回の生花教室

初任者研修を終えられたばかりの津田さん、お父様を大切に思われる気持ち、同じように利用者さまにも伝わっていると思います。頼もしい萌の里の力になって頂けると確信しています。



小規模多機能ホーム萌の里は、開設11年目に入り、現在20名のスタッフで20名の利用者さまを支援しています。利用者の平均年齢が89.5歳と超高齢の方が大半です。伴い職員も高齢者の仲間入りする職員がチラホラ（私も例にもれず）、利用者さまと共に歳を重ね人生の大先輩に沢山の事を学び共に歩んでまいりました。



ポンちゃんも送迎にGO~!

小規模多機能ホーム萌の里は地域の中で地域と共にと、三室地域の皆さんに助けられながら歩んでいます。今ボランティアで、朝な夕なに犬の“ポンちゃんと散歩に行き隊”で小学生の女の子、中学生のお兄ちゃん、ご近所の沢山の方々が来てくださっています。又、調理、おばあちゃんの駄菓子屋にもボランティアでお手伝い頂いています。本当にありがとうございます。嬉しい限りです。

障害相談支援事業所

★☎ 32-3535★

『三郷サンサンハウス特定相談支援事業所』を昨年10月に開設しました。生活支援センター「ななつぼし」さまからの紹介で、難病である視神経脊髄炎（NMO）の方の支援をしています。ご本人宅にて面談しアセスメントを取って、サービス等利用計画案（介護保険でいうケアプラン）を作成し

ます。それを役場の障害福祉課に提出し、約一か月後に支給決定が下りますと、利用するサービス事業者との連絡調整や正式なサービス等利用計画書を作成して利用開始となります。

この方は25年前、力が抜けて歩きにくくなる、シャワーの熱さが感じなくなる、吐き気、しゃっくり等の症状があり多発性硬化症（MS）と診断されました。仕事を辞めて治療を続けて来られましたが、4年前（49歳）に、布団が固く感じられ、背骨が痛くて眠れないという身体変調が出現したので、東北大病院に検体検査を出した結果NMOであることが判りました。2000年頃までは、多発性硬化症（MS）と診断されていた疾患が、NMOとMSという二つの異なる疾患に分かれる事が判明したそうです。

本人の希望は、月一回の「患者会」に出席するため、郡山保健所への送迎支援です。サービス計画に移動支援サービスと通院等介助を組み入れました。移動支援サービスは、一人での外出が困難で、社会参加、余暇活動を行うための外出時の移動にともなう支援です。このサービスは市町村が実施する地域生活支援事業に位置付けられています。通院等介助は、病院受診のための移動の支援なのですが、こちらは障害支援の居宅介護サービスの一つです。障害のある人は、難病や身体障害だけではありません。自己決定が難しい知的障害、精神障害のある人には、プロとして責任をもって相談にのり、計画作成が出来るようにならなければいけないと切に思っています。 管理者 中川 香代子

居宅介護支援事業所

★☎ 32-3535★

担当させて頂いているご夫婦に最近あった事より紹介させていただきます。

半身麻痺の後遺症があるご主人を、奥様がご自宅でお世話されています。今年は三月に入っても冷え込み、ようやく春めいた三月末の午後、奥様は咲き始めた菜の花を見に、庭先に降り、運悪く転倒され、胸を打ってしばらく動けず、必死の思いで玄関まで辿り着き、息子様が気づき、すぐ119番通報。ちょうどご主人のインシュリン注射の時間。何と、奥様は、救急車が到着するまでの間に、息も出来ないくらいの痛みをこらえ、ご主人に注射を打たれたのでした。そして搬送先で肋骨骨折と分かり入院されました。

ご主人の立ち座りやお家の中での移動のほとんど全て、奥様が見守ってらっしゃるので、奥様の入院中一人で過ごすのは無理だと判断し、ご主人にはショートステイを利用して頂くことになりました。

数日後、奥様の入院先を見舞うと、「あれ以来主人の声を聞けていませんが、元気にしているでしょうか?」と、ご自分の身体の事よりも先にご主人の心配を口にされます。次の日、息子様とショートステイ先のご主人に面会しました。以前一泊体験した後の感想が、「やっぱり我が家がいいです。」とのことでしたので、「早く家に帰りたい。」と仰るだろうと予想していましたが・・・・おやつのパンケーキを不自由な手で切り分け勧めて下さったり、息子様には「施設内の散髪日に予約してほしい」「施設の花見が〇日にあるらしい」とか、結構楽しんでらっしゃるようです。 奥様の事を聞くとされないので、「昨日奥様にお会いしてきましたよ」と切り出すと、たちまち顔が緩み、後は、涙、涙・・・・ 息子様曰く、「母の事は私にも聞きません。母が良くなつて家に戻つてくるまで、自分もここで頑張らないと、と思っているのでしょうか。」

奥様は、まだ痛みはあるものの退院され、間もなくご主人も帰つて来られます。 自宅での生活の再開は嬉しいことですが、お二人の、お身体とお気持ちの状態の変化を見逃すことなく、退院・退所後に潜んでいるリスクにも注意して、支援させて頂かなくてはと思っています。

ケアマネージャー 川島星子

リハビリディサービスくるみ

★☎32-3535★



リハビリディくるみ～身体重心道～

今年も花見の季節に馬見公園や信貴山に出掛けました。花見に行くとランセルをしょって家族写真を撮っている新小学生に出会いました。家族と嬉しそうに笑っている姿を見て、私たちディサービスの車の中もとても幸せな空気に包まれました。昨年の花見では車いすで参加された方が

「つり橋を 見事みなさま 渡り終う 渡れぬわたし こころゆらゆら」と短歌に歩けなかった時の気持ちを込めてくださいました。あれから一年たち、今年はとっくに湖の回りを皆さんと一緒に歩けるようになったことをとても喜ばれています。散策しながら、「昨年はそんな短歌を詠んだね」と話され私たちも懐かしく思い出しました。様々な身体状況の変化はありますが、少し外に出る事から始めて、少しでも自分がうれしい楽しいと思える時間



楽しみの一つ桜の花見も 花壇の花見も 楽しい(^)/ うれしい♪

を過ごして頂きたいと思います。この時期になると、スタッフが通勤途中や私用で出かけた時、馬見公園このくらい咲いているよ、ここも満開よと写真を送ってくれます。皆さまとのお出かけすることに想いを馳せて、スタッフにとっても楽しみになっていることを嬉しく思っています。



くるみ重心道一般プログラム

スタートしてから4年半となるくるみ重心道一般プログラムは、この4月3代目トレーナーの山田職員と共に心新たにスタートしました。重心を意識した運動で、一緒に汗を流しながら、ちょっと厳しさあり、笑いあり、楽しい声が外まで響いています。

管理者 岡本 真弓

ヘルパーステーション

★☎32-3535★

サンサンハウスのヘルパーステーションでは、24時間365日、ご利用者やご家族が安心して暮らせるお手伝いをしたいと考えています。現在、11名の職員が朝8時から夜10時まで交代で訪問をしています。一人の利用者に一人のヘルパーと担当制にしている事業所さんもありますが、私たちは一人のご利用者に数名のスタッフで関わらせていただいている。一人では気が付けない気付きができたり、転倒などで緊急に訪問する場合でも、連携して素早い対応ができるようにとの思いがあります。誰が訪問しても同じケアができるように、情報の共有や手順の確認を都度おこなっています。まだまだ至らないこともあるでしょうが、ヘルパーが来て安心だと思ってもらえるよう一同頑張ります。

管理者 重松 知子

福祉タクシー

★☎32-3535★

通院等乗降介助とは、ヘルパーが運転をする介護タクシーです。要介護1以上の認定を受けておられる方で、ケアプランで計画されている場合は介護保険で、また障害支給決定をされている方は障害サービスでの利用ができます。病院、役場などの公共施設、介護保険施設の見学、銀行や郵便局での預貯金の引き出しや、眼鏡や補聴器の購入や調整等にも利用できます。車両への乗り降りの介助はも

ちろん、乗車前、降車後の移動の介助や、必要に応じて病院の受診受付の支援もすることができます。すべての車が車椅子対応可能ですので、車椅子の方はそのまま乗車ができます。出発前や帰宅後に着替えや排泄の介助などが必要な場合は、通院等乗降介助ではなく身体介護で送迎することもできます。いつでもご相談ください。また、上記の利用できる範囲以外への外出や、要支援の方、要介護認定は受けていないが体調不良などで公共交通機関の利用がしにくい方は、介護保険外のタクシーもありますので、ぜひご利用ください。

重松知子

デイサービスあかねの里

☎31-3536★



あかねの里のデイサービスの一員に加えていただいてから1ヶ年3月が過ぎました。

看護師の八瀬 弓（49）です。総合病院、医院、訪問看護と自分なりに経験をかさねて、在宅療養の大変さやすばらしさを感じてきましたが、デイサービスの仕事を始めて改めて感じることや学ぶこともたくさんありました。まだまだ修行中です。

今日は、私があかねの里にたどり着くことになったきっかけを少しだけ書きたいと思います。

私の祖母は、大正8年生まれ。 我慢強くてたくましく、人なつこくサービス精神旺盛な人でした。私は大変かわいがってもらったので、相当なおばあちゃん子で育ちました。祖母が92歳で亡くなった時私は44歳でした。亡くなかった後、祖母の遺品整理をしていて、通っていたデイサービスの写真を見つけました。若いスタッフと楽しそうに手をつないだり、時にはハグしたり。レクレーションや行事に楽しく参加している様子が伺える写真でした。

歳を重ねてからも祖母が本来の「人を喜ばせたい」「人とふれあいたい」という望みを叶えてくれていたのが、デイサービスの場であったことに気づき、とても素敵な場所だと感じました。そして、いつかデイサービスの看護師として働きたいと思っていました。

今、あかねの里には、胃瘻や気管切開の処置をされていたり、90歳以上の高齢であったりと、医療処置だけでなく体調管理だけでも医療的な視点を必要とされる利用者様が多くおられます。あかねの里の看護師は送迎やレクレーション、食事・入浴など。。。

日常生活を介護職員と一緒に過ごさせていただいている。皆様の日々のご様子を知っていることで、ちょっとしたことから看護師の視点で「あれっ？今日はどこか。。。」と感じることから体調の変化に気づくことができ、早めに横になって頂いたり、ご家族にお知らせしたり、時には受診して頂いたりすることが出来れば何よりかと思っています。

利用者様にとって、いつもは楽しい隣のお姉さん（おばさん？（笑））でいて、いざという時頼りになる看護師になりたい。 というのが私の夢です。

それを叶えてくれるのが、利用者様にとってもスタッフにとっても、まるでお家のような、「あかねの里」だと思っています。

季節は春本番です。お花見やドライブにも出かけて皆さんと一緒に春を楽しみたいです。笑顔と笑い声の絶えないあかねの里で益々かわいがっていただけるよう頑張ります！ よろしくお願ひいたします。

八瀬弓



高齢者の家あかねの里

★☎31-3536★

入居者だった〇様の息子さんからのご寄稿を紹介させていただきます。

私の母は、この2月22日、満 95歳で-あの世に旅立ちました。あかねの里では短い間でしたが、暖かいたくさんの手に包まれて穏やかな最期の日々を送りました。生前化粧はしなかった母ですが、死化粧をしていただいた母は自分の親ながら、観音様のように美しい顔をしていました。

その日の昼前、眠っていた母の手を少し握ってやつてから、用を済ませに家に帰りました。母はその間に息を引きとつてしまつたのでした。母は眠っていても私が手を握ったのを知つていて、安心して旅立つたのだろうと思います。

昨年秋、入退院を繰り返すようになつた頃から、母は本格的に死に向かう行進を始めました。永遠の別れを覚悟していたものの、もう少し長く生きついてほしいと希望的観測もしていたので、こんなに早く逝つてしまつて寂しさが募ります。半年余り、母自身少しでも長く生きていようとして頑張つていましたが、死の一週間くらい前からは殆ど食べられなくなり力尽きました。でも何年も長く苦しまなくてよかったのかなど今では思います。

退院して家に帰つて来る度ごとに弱つて行く母の姿を見るのは辛いものでした。そしてとうとう自力では歩けなくなつたちょうどその頃あかねの里に入所させていただけたことになり、私は救われた気持ちでした。ここは、本当に家庭にいるように暖かく、きめ細かい世話をしてくれたので感謝の気持ちでいっぱいです。3年以上前から、くるみでお世話になつたのも幸運でした。外では結構剽軽なところもあり、面白いことを言って人を笑わせるのが好きな母は幸せだったと思います。もう一度会えるならいくらでも世話をしやりたいと思うこのところの日々です。この間、初めて、夢に出てくれました。自室の襖を開けて出てきたので「お母さん、死んでなかつたんや、よかつた」と思いました。また、いつかまた夢で会える日があるでしょうか。

母が亡くなつてからもあかねの里に行くことがあります、そんなとき、行く道はより一層もの悲しく、まだ今でも母があかねの里にいるような感じがしてくるのです。

〇様とは三週間という短い間でしたが、終末期という大切な時をあかねの里に委ねてください、貴重な経験をさせていただきました。〇様が亡くなられた後も、手作りの巻きずしやこんにゃく、お花などを持つて来て下さり、こちらこそ感謝の気持ちでいっぱいです。

これからもご本人と同じくらい、陰で支えておられるご家族との繋がりを大切にしていきたいと思います。

管理者 春木 ひとみ



あかねの美人？4姉妹

たすけあいの会

★☎32-3535★

たすけあいの会では、必要なサービスを提供したり、利用したりしながら、地域で支え合つて暮らしていくことを目的としています。支援が必要な方であればどなたでも利用ができます。また、どなたでも活動することができます。

最近の主なご利用は…

- ・同居家族のおられる（介護保険の生活援助がつかえない）場合の日常の掃除
 - ・ガスコンロや押し入れ片付け、窓ふき等の大掃除
 - ・通院時の付添
 - ・入浴の見守り、介助
 - ・入院中の清潔保持の介助、お話相手、etc…
- 週に数回の定期利用の方もいれば、年に一度など、必要なときだけ自由に利用することができます。このサンサンニュースがきっかけでお電話をいただくことが多いです。暮らしの中で、どうしようかな？ 困ったな？と思った時は、遠慮なくご相談くださいね。
- 管理者 重松 知子

サンサンサロン

★☎32-3535★

3月、サロンの親睦会を開きました。手芸・サンサン体操・麻雀サロンの利用者さん達が一同に集まり食事会。途中、初対面の利用者さん達もいらっしゃるので、自己紹介をして頂きました。「ご近所さんだったのね。」と言う新しい発見もあり、和やかな食事会になりました。

その後はサロンに戻り、ビンゴゲーム大会です。豪華な景品（！？）ゲットめざして、皆さん真剣で、「私の数字出して～！」なんていう声も聞こえ、賑やかでした。

4月初旬には、桜の花見に行きました。今年は、天候が思わしくなく、満開になるのは、いつ頃なのかと気にしていましたが、うららかな日差しをあびて、見事な桜を見る事ができました。箸尾の川沿いの桜並木は桜のトンネルでは、「きれいやな～」とうっとりです。三室山・奈良学園大学の桜も満開でとてもきれいで、ピンクの花びらが風にゆられ咲く姿に、見とれてしまいました。利用者さん達も大満足の様子でした。

サロンの開催日は、月・木→手芸 月→麻雀サロン 火→サンサン体操です。皆さんそれぞれにおしゃべりをしながら、楽しんでおられます。手芸は、利用者さん同士で教えたり教わったりで和気あいあいです。麻雀サロンもお互いに戦略を練りながら「ポン」「チー」



など元気な声が飛び交います。サンサン体操は、脳トレに伴うゲームですが、出来たら嬉しくて、間違えたら大笑い！ホッと一息「憩いの場」あなたが主役です。サロンのスローガンですが、皆さんの「憩いの場」なっているでしょうか。これからもボランティアさん達の協力を得て、もっともっと笑いあふれるサロンにしていけたらと思います。

柳 美保

麻雀サロン 予備要員募集！

現在、定員は決まっていますが、急用などで出席できない場合
ピンチヒッターとして参加して頂きます。是非ご参加ください。

毎週金曜日 時間：10時～12時 利用料：400円
送迎：100円（希望者のみ）

☎0745-32-3535 までお電話下さい。

お待ち
しています。



一般公開職員研修会

～HUG避難所運営ゲーム～

参加歓迎

NPO法人奈良県防災士会防災士・奈良県安全まちづくりアドバイザー

北村氏（三室在住）にご指導頂きます。

- ☆ 防災についてゲーム感覚で学べる研修で、三郷町では初めての試みです。
- ☆ 地域と公的機関が一緒になって防災に取り組める機会となれば幸いです。
- ☆ みんなで安全まちづくりを～

お誘いあわせの上、ぜひご参加ください

日 時：平成29年6月18日（日）10時～12時

場 所：デイサービスくるみ（東信貴ヶ丘1-2-27）

準備の都合上ご参加の方は右に連絡を…本部事務局 0745-32-3535



職 員 募 集

一緒に働いて下さる方を募集しています！！

○高齢者の家あかねの里・・・ 介護職員・夜勤職員

○ヘルパーステーション・・・ 訪問介護職員

○デイサービスセンターくるみ・・・ 機能訓練指導員・介護職員

○小規模多機能ホーム萌の里・・・ 介護職員・ケアマネージャー

一度見学に来てくださいね～(*^▽^*)

管理者候補・看護職員

常勤・非常勤、朝・夕方だけの勤務など時間は相談に応じます
経験の有無不問、未経験者・経験不足の方には指導、援助します
資格のない人には、資格が取れるように支援します

※ 詳しい求人については、ハローワークの求職票をご覧ください

※ 事務局（☎ 0745-32-3535）にお問い合わせください